



湘南 **ののみや**

朝獲れの新鮮な魚を求めて賑わう「海の朝市」
11月まで、毎月第2、第4土曜日、梅沢海岸で開催中

議会だより

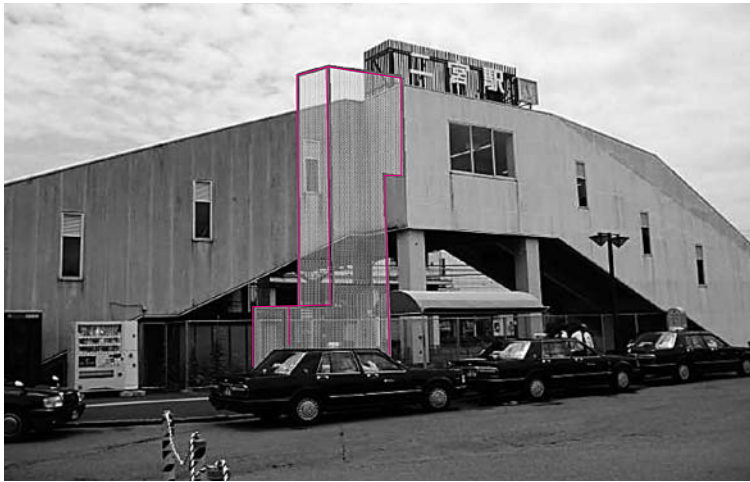
平成22年6月定例会 6/4~6/11

- ◆ 議会で決まったこと
 - 駅南北エレベーターの契約…………… 2P
- ◆ 一般質問に9議員が町政をたずね…………… 5~9P
- ◆ 合同視察研修 群馬県渋川市・昭和村…………… 10P
- ◆ この人紹介 子どもたちへ囲碁普及…………… 12P

9月定例会のお知らせ

9月3日(金)から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できますーお気軽にどうぞー

二宮駅エレベーター整備 工事請負契約



待望の駅南北エレベーターは来春完成予定
赤線部分に設置、よりバリアフリー化が促進（北口）

議

会 で

決まったこと

鉄建建設(株)が落札

二宮駅エレベーター整備工事請負契約

駅南北自由通路にエレベーターを整備するための請負工事に対して7社からの申し込みがあり、うち1社が辞退、最終的に6社で入札が行われた結果、2社が最低制限価格に達せず、鉄建建設(株)横浜支店が9千349万8千300円(税込)で落札。

問 何人乗りか。
答 11人乗り。

問 用地の借り入れにについてはどのようにするか。
答 無償での借り入れとなる。

問 通勤・通学時間帯の混雑などから工事は短期間が望ましいが、どの位を予定しているのか。
答 1基設置に約3ヶ月を予定している。

などの質疑があり、全会一致で可決した。

専決処分の承認

二宮町税条例の一部改正

従来まで公的年金の個人町民税については、給与からの特別徴収とされていたが、22年4月1日より申し出があった場合に限り普通徴収とすることができるとの改正。対象者は112名で4月現在21名の申し出があった。

全会一致で可決した。

国民健康保険税条例の一部改正

限度額の引き上げと

軽減措置を拡大

国民健康保険税について3点見直しが行われた。

①賦課限度額の引き上げ
医療分の賦課限度額を47万円から50万円に、また後期高齢者支援金の賦課限度額を12万円から13万円に引き上げるもの。

②低所得者への減額措置
従来まで均等割額・平等割額は国の定める所得基準により「6割・4割軽減」だったものを「7割・5割・2割軽減」と改める。

③非自発的失業者への軽減措置
雇用保険の特定受給資格者および特定理由退職者倒産・解雇等による離職者に対して軽減を図るもの。

「軽減措置は評価するが、生活が厳しい中での限度額の引き上げは認められない」との反対討論があり、本会議において11対2で可決した。

学校給食センターの設置に関する条例の一部改正

新学校給食センター整備の完了に伴って、移転のための位置(住所)変更を行うためのもの。

全会一致で可決した。

議員提出議案

二宮町パブリック・コメント手続条例の制定は否決

提出者は小笠原陶子議員。賛同者・根岸ゆき子議員、神保順子議員。提案理由は、現在、町が行っているパブリック・コメントは、背景に要綱や条例の位置付けがない。責任ある町政運用を町民とともに図るためには、条例に定めて町政への参画をより一層うながす必要がある。「字句の統一性がなく、他の法律等との整合性もない。予算編成に多大な遅れをもたらす可能性がある」ので反対。町政参加の1つのツールとして必要。対象範囲や手続きを具体的に盛り込んでいるので賛成」との討論が行われ10対3で否決された。

パブリック・コメントとは?

行政が政策、制度等を決定する際に、町民等の意見を聞いて、それを考慮しながら最終決定を行う仕組み。但し、この手続きは、公示される案への賛否を問うものではない。

補正予算

一般会計

予算総額に歳入・歳出それぞれに1千421万1千円を追加。主なものは国支出金で女性特有のがん検診事業。諸収入として他団体し尿処理料。他、継続費補正として、ごみ処理広域化推進事業、繰越明許費としてごみ積替施設建設工事など。

主な質疑は次の通り

問 女性特有のがん検診、案内発送の時期はいつか。

答 なるべく早くしたい。

問 昨年、9月補正の受診者見込みを大幅に下回ったため3月補正で減額をした。違う取り組みの必要があるが具体策は。

答 昨年度の受診率は26%だった反省がある中で、今年は35%を目標としPRに力を入れたい。

問 財産売却い予定地の詳細は。



答 釜野、百合が丘2か所の不動産手数料である。広域化に伴う、し尿処理を一時的に受入れるが、契約はどうなっているか。また単純計算では

1億7円という単価だと安いのではないか。

答 大磯町・平塚市と協定書を結んだ。単価は県のやり方に習い決定している。



財源確保に向け町有地を売却？
(百合が丘プール)

問 ごみ処理広域化計画策定の委託業者の選定、完成時期、住民説明は。

答 業者は随意契約になる。23年8月には計画を作り終えたい。住民説明会は行う。

採決の結果、全会一致で可決された。

国民健康保険 特別会計

予算総額に、歳入・歳出それぞれ2億7万9千円を追加。全額が国庫支出金。内容は、非自発的失業者に係る国民健康保険料の軽減措置のため、システム改修をするもの。採決の結果、全会一致で可決された。

固定資産評価員の選任

職員の人事異動にともない、現在町総務部長兼環境部長の野谷和雄氏を固定資産評価員に選任するため、議会の同意を求めた。全会一致で同意した。

平成21年度一般会計の 繰越明許費の報告

- ① 新型インフルエンザワクチン接種費用補助金。
 - ② 新ごみ積替施設造成工事 監理委託料、同造成工事、同用地購入費並びに補償金。
 - ③ 町道63号線拡幅改良工事。
 - ④ 学校アンテナ工事及びデジタルテレビ購入費。
 - ⑤ 二宮小学校校庭芝貼り工事。
 - ⑥ 一色小学校校庭改修工事。
- など計12件、合計金額は1億8千2百1万9千円で、繰越明許費として報告された。
- また、(仮称)新学校給食センター整備事業の21年度予算3億6千6百6万1千円のうち、1億9千3百24万円が22年度へ継続費として報告された。

町土地開発公社の 事業報告と決算報告

21年度の事業として二宮町に売却した土地は、(仮称)多目的広場用地として、面積2千400㎡の土地を1億3474万5698円で売却した。その他、財産目録や貸借対照表の報告がされた。

校庭芝生化の実用試験
(二宮小学校西側)



2年がかりの予算で新設された新学校給食センター
(2学期より新施設での給食が始まる)

平成21年度から一般会計及び 各特別会計の繰越額が決定

5月末の出納閉鎖にと
もない、22年度への繰越
額が確定した。

一般会計の繰越額は、
22年度への明許繰越額な
どを除くと実質の純繰越
額は、約2億5千454

万5千円になる。

また、各特別会計も平
成20年度と21年度を比較
すると繰越額が増えてい
るのが目につく。

詳しくは9月の決算審
議で議論される。

平成22年度への繰越金が決定

(単位 : 円)

| 会計名称 | 収 入 | 支 出 | 22年度への繰越額 |
|-------------|----------------|----------------|-------------|
| 一般会計 | 7,914,380,910 | 7,583,675,261 | 330,705,649 |
| 国民健康保険特別会計 | 3,369,322,683 | 3,294,138,270 | 75,184,413 |
| 老人保健医療特別会計 | 21,315,762 | 15,985,966 | 5,329,796 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 568,072,661 | 540,934,110 | 27,138,551 |
| 介護保険特別会計 | 1,871,083,643 | 1,795,884,017 | 75,199,626 |
| 下水道事業特別会計 | 980,572,714 | 950,185,105 | 30,387,609 |
| 合 計 | 14,724,748,373 | 14,180,802,729 | 543,945,644 |



質問の考えを問う

6月9・10日の本会議では、傍聴者が見守る中、9名の議員が町民の身近な問題12件を行政側に質問した。

ここでは各人の質問要旨を掲載する。この記事は本人の原稿提出に基づいて掲載したものだ。

一般質問



地籍調査では境界確認が重要な作業

松木 最近の新聞に「地籍調査を進めよう」などの国土交通省の広告案内を見かける。国会での質問の内容は、調査の一部を国が実施したり、調査の委託先を民間法人に拡大するなど改善策を打ち出したとあった。本来地籍調査は、自治体の仕事だが、二宮町としてどの

ように進めるのか。

国の積極的支援受け
制度利活用で進める

都市経済部長 地籍調査は、個人の権利や財産を守るだけではなく、行政の基礎資料として活用と土地に関する権利面、税制面及び土地利用情報と

地籍調査を今後どのように計画していくか

松木 義明議員

しての必要性は感じている。二宮町では昭和61年度、川匂、山西地域から順次調査し、実施面積は0.87平方キロメートル。全体面積9.08平方キロメートルに対しての進捗率は18.39%である。

松木 私は、かつて道路境に石垣工事をした。しばらくしてからいやな噂話として「石垣が道路に出ている。」と風の便りで聞いた。その時、偶然に地籍調査が川匂地域から始まった。町職員、川匂地域の人達が立会った。その結果、道路が20センチ民地に入っていることが分った。その様なことがあるので全町内早く実施したらどうか。都市経済部長 国土調査促進10カ年計画も作成されたので、今後、町もこの制度を利活用し進めたい。

子宮頸がんゼロをめざして ワクチン接種と検診を問う

三橋 智子議員

三橋 近年、若い女性に急増している子宮頸がんの原因は、ヒトパピローマウイルスの感染であることが分かっている。そのためワクチンを接種し、検診を適切に受ければ100%予防ができる」とされる。その効果を理



期待されるワクチンの公費助成

解し接種料を公費で負担する自治体が増えているが二宮町はどうか。

健康福祉部長 ワクチンの効果は認めるが、公費助成は国の制度化の推進を期待したい。

三橋 先進事例を研究して、町のワクチン接種体制を整えていただきたい。

がん対策は早期発見・早期治療が原則で、検診がもっとも有効である。町の低い受診率を向上させるための対策は何か。

受診率が低い20歳から30歳代への普及が課題

健康福祉部長 昨年のが

ん検診無料クーポン券事業の分析を生かして受診環境を整えたい。住民への周知はチラシ配布等での重層的にし、未受診者の個別通知も行っていく。

三橋 欧米はがん検診やワクチン接種が8割を超える。それは義務教育でがんについて適切に学習するからだ」とされる。各地で小・中学生対象のワクチン接種が始まり、学校でのがん教育が必要と思われるが町の見解は。

健康福祉部長 ワクチン接種が制度化されれば、保護者への周知も必要になるので、教育委員会と連携をとり進めていく。



教育支援室では電話でも相談に応じます (やまびこ)

校内暴力・いじめ・不登校 教職員の健康問題を問う

一見 泰弘議員

二見 校内暴力について神奈川県は、4年連続で最悪の全国1位であるが小中学校の現状と対応は。

教育長 平成21年は若干増加している。現状は一部の限られた生徒の繰り返しの対応は保護者と教師が同一歩調で指導し、警察・児童相談所などと連携をとっている。

二見 県では、フレンドリースタッフ派遣事業やスクールカウンセラーの対策をしているが。

毅然とした態度で対応 教育次長 心理学専攻の大学生・訪問相談員・臨床心理士・スクールカウンセラー・青少年特別指導員を配置。毅然とした

態度で生活指導を行う。

二見 いじめは教師や保護者が、子どもの小さなサインを見逃さず、早期発見・早期対応が重要である。発件数と対策は。

教育長 平成21年は4件と減少している。毎年9月から11月に実態調査し、対応協議している。

二見 不登校は、どの子どもにも起こると言われ、兆候を示したら、学校全体で未然防止に万全の対策をしているのか伺う。

教育支援室が効果ある

教育長 平成19年に40人だったのが20年、21年には30人台と減少している。町の不登校専門の「教育支援室やまびこ」があり、通室者の学習指導・教育相談・訪問相談など専門機関として成果をあげている。

他に教職員の健康問題

国・県から出された上位計画に 対する町の方針を問う

原 富士徳議員

原 県は各市町に消防の広域化を提案して、その回答期限を7月末としているが二宮町は独自の提案が出来るのか、それとも全体の意見に従うのか。私は機能を強化し費用の削減も期待できる近隣との広域化を進めるべきだと思いが町の考え方は。

県の広域化案には反対

町長 県の示す4市3町で行う広域化案には反対だ。現在は小田原・秦野・平塚・大磯などとの広域連携の強化を目指す。

原 町長の言う通り、藤沢から西、又は鎌倉市を含む広域化案などは現状を理解していない県の一方面的な提案だ。しかし広域連携だけでは解決できない小組織の弊害がある。町民一人当たりの消防費負担額は1万4245円、横浜市は1万円、

県下平均では1万2000円だ。大磯町もそうだが、小規模な組織では住民の負担額が大きくなる。県の示す広域化案を好機と捉え近隣との広域協議を進める事を提案する。

次に、町立小学校3校で格差が発生している。小学校1年生で32人と22人の学級がある。2年生

では37人と24人の学級。同学年でありながら学校により10名以上の差があるが生徒の理解度に差は無いのか。

児童数での格差はない

教育長 教職員の努力で個別授業などを行い問題ない。



交通不便地域解消のための 新たな地域公共交通は 神保 順子議員

神保 町コミュニティバスについて過去の議会でも2度質問をし、バスの小型化を要望してきた。

しかし、バスは小型化されないまま本格運行となり、利便性から考えても利用増加には繋がっていない。この間、高齢化率



「町コミュニティバス」だけで
生活の足は確保できる？

はさらに上昇し、富士見が丘や百合が丘の一部では40%を超えてしまった。高齢者や障がい者が元気に暮らし続けるためには、気負いなく外出できる環境作りが重要と考える。

二宮町の交通計画を早急に策定し、全体的な見直しを図ると同時に、新たな交通システムとして秦野市などで導入が進められている※デマンド交通を、町で導入していくことについて考えを伺いたい。

交通計画策定をすすめ、 必要に応じ委員会設置

都市経済部長 21年度の

実績は1日1便あたりの平均乗車人数が11人。運行経費に対し、運賃収入の低さが課題と捉えている。

町長 2年後に二宮小学校前道路の拡幅工事が終了し、神奈中バスの路線が変わる可能性がある中で、今後は秦野市の事例も参考にしながら検討していきたい。

神保 まずは地域限定で、実験的に行うよう要望する。

※デマンド交通 希望の場所から場所まで低料金で行ける予約型乗合方式の交通システム。民間や市民事業への委託が主。

自立支援法の応益負担に対し、 町独自の助成を求める

鳥海 恭子議員



鳥海 この法律は平成18年、社会保障費削減のため障がい者家族に1割の応益負担とし、事業所報酬を削減、まさに自立に反する制度である。反対運動の中で、全国8都府県248自治体が医療や利用枠の負担軽減を実

サービスの上乗せ実施

健康福祉部長 平成18年度から応益負担となり、重度障がい者ほど負担が重くなると批判があり、自立支援法は「違憲」という訴訟もあり、国は平成25年8月までに新法制定の基本合意している。町は、①補装具の支給利

ともじびショップ開設

町長 障がい者の働く場として、ともじびショップ（軽食喫茶）を町民センターに開設したい。成功したらラヂアンにも。鳥海 22年度予算の在宅障がい者援護事業費は減である。福祉手当復活と応益負担も、町独自のさらなる助成を要望する。

①訪問入浴サービスや日常生活用具給付③町は国の不足部分を補う形で医療費助成。紙おむつ、タクシー料金助成等々。今後は国の動向を踏まえ福祉サービスを検討。

小笠原 町民が介護保険を利用するときは、要介護認定の手続きを役場の高齢障がい課で申請をする。その後、介護保険利用者宅に認定調査員が伺う。認定調査員は利用者にとって、医師に次ぐ最初の関係者として信頼関係を保つべき。しかし、町民から、認定調査員の

対応に不信感を抱き、資質について「町の認定調査員は、看護師やケアマネージャーの資格がなく、でもないのか」「身体的な障がいでも介護保険を利用してはいるが認知症の人に話すような言い方をされた」と疑問の声が届いた。また、調査員は新任研修以外に現任研修を実施し

介護認定調査員は信頼が
持てる資格と研修の実施を！

小笠原 陶子議員

臨時職員が県の研修受ければ認定調査員に

健康福祉部長 町が臨時で雇用した調査員は、県の研修受講後、認定調査員になることができる。現任研修は介護保険班の職員が県で受講し、それを伝えている。現在苦情はない。年間1千200件余の認定の中で区分変更の苦情申し立ては10件程度。

小笠原 苦情ないというが記録しているのか。研修はレポート提出を義務付けているか。健康福祉部長 レポート提出はさせていない。小笠原 常に研究・努力・改善が必要、研修に予算計上せよ。(他にごみ広域化の処理施設質問)



介護に関する問い合わせは高齢障がい課へ

福祉的就労の確保を町は

丁寧議論しているか問う

根岸 ゆき子 議員

根岸 予算編成過程の町長権限は、起案、査定、提案に及ぶ。今回、町民が直接関わる事業として「ともしびショップ」が立ち上がるが、当初予算や方針には上がっていない。その決定プロセスに疑問をもつ。社協が運営主体だが、補助金として町の補正予算に計上されるはずであった。町長が早急な展開と自立を望んだ背景について説明を求む。

障がいの方々の自立をテーマに前進したい

町長 手をつなぐ育成会の総会などで話を聞き、障がい者就労の場面を実現したいと考えてきた。たまたま、ともしびショップを知り、視察にも行って話を聞いた。お金のかからない方法として町民センターの活用し

及んだ。補正予算を計画していたが、予算不足で結局、社協の基金をオーブン資金に充てることになった。

根岸 ともしびショップは慈善事業である。町長が「自立・商売」を最初から明言するのは如何なものか。障がい者就労への願いは、皆が町長と同意の図り方は模索せよ。

じ思いだが、着地点の見つけ方については合意形成が足りないと考える。町長 発案者がいなかっただけのこと。ネット議員も言いに来ればよい。

根岸 信頼関係は個室や口利きではなくだれもがわかりやすいシステムで培われるべきだ。住民合



ともしびショップ開設に向け試食会

小児医療費無料化を 小学6年生まで引き上げよ

城所 努 議員

城所 以前にも要求してきたが、二宮町の小児医療費無料化は、現在、所得制限なしの小学校3年生まで拡大されてきた。しかし、県下の状況は9自治体が小学校6年生まで、箱根、山北、中井の3町は中学3年生まで拡大されている。

子育て支援としても重要だが、今後、町を背負っていく20〜39歳代が2年後には438人も減少するというショックな推計も明らかになっている。若い層の定住なども考え、小学6年生まで拡充すべきだ。

財源確保が課題だが前向きな方向で検討

町長 私も拡充したいと考えているが財源確保が大きな課題だ。知恵を絞って財源を産みだしたい。子どもの健全育成と家庭への支援策として必要



な制度であり、前向きな方向で検討を進める。健康福祉部長 対象を6年生まで広げると約1千7百万円の増となり、全体では約8千万円の予算額となる見込みだ。

城所 高学年になれば医療機関にかかる率は少なくなる。財源を心配したら切りがない。将来の町づくりの視点から、どこを重点的に予算を充てるのかを考えるべきで、6年生までの引き上げを強く要求する。
(その他、旧給食センター跡地など、町遊休地の売却で1億円を予算化したが見通しを質問)

視察研修報告

・・・ 議会運営委員会//議会だより編集委員会 ・・・

5月20日～21日に群馬県の

渋川市と昭和村を視察研修

渋川市では議会運営について研修、平成18年に一市一町四村が合併した市で人口約8万5千人である。本会議での一般質問の形態が一回目は一括質問・一括答弁方式で再質問以降は一問一答制として、回数制限はないが、答弁を含め60分以内としている。

内容について深く質疑でき、一般傍聴者にもわかりやすいという利点がある。合併当初から、この形で行っており、議員、執行者に抵抗なく移行されたという。二宮では一括質問・答弁で三回の制限がある。テレビ放映が始まり、この点についても今後、検討をしていく必要があると感じた。

また、当初予算及び補正予算は議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し審議している、二宮とは違う点だ。



質問形式などの議会運営を視察
(渋川市議場)

合併せず
頑張る昭和村

昭和村は、「輝く村をめぐらず」とし、人口は7千700人であるが平成の合併もせず頑張っている。

農業と工業が主産業

で、特にこんにゃくの生産は日本一である。また議会だよりが全国コンクールで何回も優秀な成績をおさめている村で、その編集方法について研

修した。
議会だよりは見やすく誰にでも読む意欲をかきたてる紙面作りを心がけているとのこと。とくに写真については動きのある写真を利用し生きた紙面としている。字体もやや大きくし字数も極力少なめにし、余白をいかにしたものとしている。紙面作りについては参考に

る所が随所にあり、今後の編集に役立てたい。ただ議会全般の質疑の中で議員数が12名で一般質問が常時2名位しかいないというのは議会の役割として疑問を感じた。
今回の視察研修では両委員会合同ではあったが、いずれも大変参考になった。今後の議会運営や活動に生かしていきたい。



議会だより編集について真剣に研修中
(昭和村)

陳情は

どうなった？

神奈川県最低賃金改定

等についての陳情

全会一致で採択

国に意見書を提出

提出者は連合会神奈川
県西湘地域連合。

内容は、①「同一価値
労働同一賃金」の観点に
たち、正規労働者の賃金
水準への接近、特定最低
賃金も大企業の組織労働
者賃金水準への接近を基
本にその改定を図ること。
②最低賃金以下の労

働者をなくすため、その
趣旨及び内容の周知徹底
を強化すること。③生活
保護を下回らない「生活
できる最低賃金」となる
よう適切な対応を求める
内容。

全会一致で採択し、国に
意見書を提出した。

子どもたちにゆたかな学びを保障するため
に、少人数学級の実現、教育予算の増額、
義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求
める陳情

賛成多数で採択

国に意見書を提出

中地区教職員組合より
提出。

陳情事項は①きめ細や
かな教育を実現するた
め、教職員定数の計画的
な改善、少人数学習や学
級規模の弾力化・縮小の
推進。②保護者負担軽減
のため、教育予算の増額、

教科書無償制度の継続。

③義務教育費国庫負担制
度を堅持・拡充を求める
内容。

教育福祉常任委員会
は5対1、本会議も12対1
の賛成多数で採択され、
意見書を国に提出した。

暑中お見舞い申し上げます

暑さはこれからが本格的

くれぐれもお体を大切に



二宮町議会一同



〇蹄疫被害に

義援金

二宮町議会では、宮崎
県で4月20日に発生が確
認された、家畜伝染病口
蹄疫被害の早期収束を願
い、6月14日に宮崎県共
同募金会を通じ義援金3
万円を送った。又、町農
業委員会でも、同1万円
を送った。

この人 紹介



子ども達に情熱を注いで囲碁を教える

山内 雅さん(77歳)

(日本棋院 5段)
(緑が丘三丁目)

山内さんの囲碁教室 誕生のきっかけは、会社役員退職後の平成19年「大磯から二宮に移り7年、何か二宮町にお役に立つ事はないか」からだった。小学校の正課として囲碁を取り入れてほしい、と坂本町長・内海教育長に話をしたところ、学童の場所を紹介されたのが2年半前のこと。学童の囲碁受講では物足りない子ども達の希望が殺到し、今では一色コミセンや自宅、生徒宅への出張などでも教えるようになった。小学生が囲碁を始めてから2年半で二人が日本棋院初段をとり、平塚の千人打ちで桑原陽子プロ(当時5段現在6段)に勝つ



行儀を学びながら碁に集中

た子もいる。山内教室はマンツーマンは1時間なので、先生の時間はいくらあっても足りないようだ。最初に山内さんが準備したのは簡単な碁のセットと大学ノート1人1冊ずつ。大学ノートは「自分の字で書くことが

大切で。それが一番頭に入る。私とあなたの思い出にもなります」と、ご自分が少年の時からそうしてきたように子ども達に教える。とにかく記録魔で、囲碁界でもユニークといわれる理由は、「資料づくり」にある。資料内容は常識はずれに丁寧だ。「子ども達の吸収量はすごい、碁は右脳だ」と目をキラキラさせて話す山内さん、多くの子ども達の感性と集中力を磨いてほしい。

★ カメラルポ ★



ご主人とブランコを楽しむ子猫ちゃん
(梅沢内原子どもの広場にて)

紅組も白組も勝利目指してガンバレ…
(二宮小学校の運動会より)



初の議会放映に挑む
SCNスタッフ

編集室だより

梅雨真つ最中、各地で大
雨による土砂災害が報道さ
れ、被害が大きくなるなら
ないことを祈りながら、議
会だよりの編集作業に追
われていました。

また、参議院選挙も行な
われている中ではどのよう
な結果になっても、国民の
生活がより良いものになる
ことを強く望むものです。
11月には町の選挙を控
える中、待ちに待ったテレビ
放映が今議会から始まり、
放映が見られた方々から、
励ましが厳しい意見もいた
だきました。これをきっかけ
に議会がより活発化する
よう議員一同頑張ります。
9月議会は3日より開会
です。ぜひ傍聴にお出かけ
下さい。

- | | | | | | | |
|----|-----|----|----|------|-----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 三橋 | 根岸 | 松本 | 神保 | 城所 | 井上 | 井上 |
| 智子 | ゆき子 | 義明 | 順子 | 努 | 良光 | 良光 |